



地熱観光ラボ縁間



概要

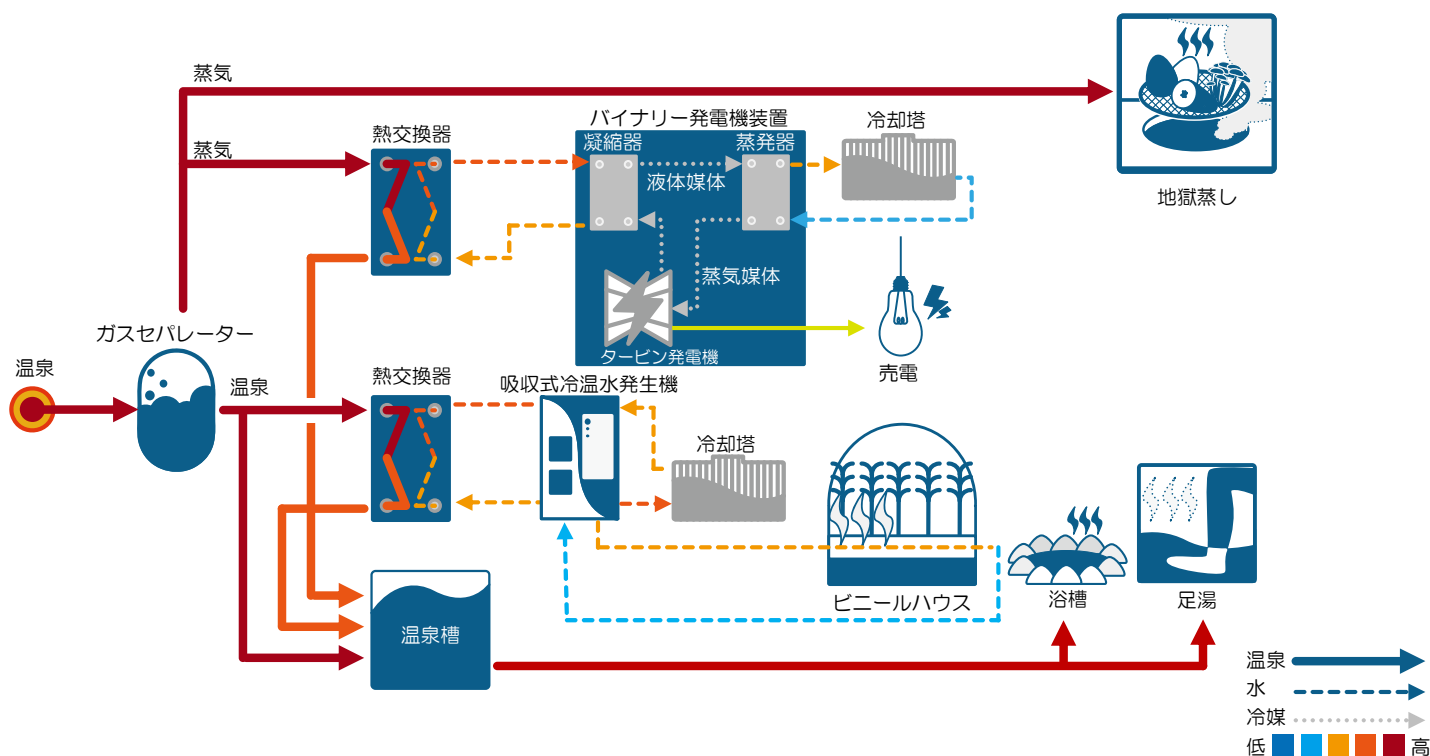
温泉熱により吸収式冷温水発生機を駆動し、いちご栽培用のビニールハウスにおけるヒートパイプの熱源と、同一敷地内の観光施設、選果施設の冷暖房に利用している。また、敷地内において、蒸気を利用した地獄蒸しを提供している。日帰り温浴施設に併設し、飲食を行うエリアでは、足湯の提供も行っている。さらにバイナリー発電システムによる売電も行っている。

所在地	大分県別府市
泉質	塩化物泉
温泉温度	99.7℃
利用温度	-℃
利用温泉	新規温泉
総事業費	1億8,000万円 (一部補助金あり)



※ ランニングコストが不明のため、ランニングコスト削減効果、CO₂排出量削減効果、投資回収年数は算出していない

主な温泉熱利用方法のシステム図



導入の流れ

実施体制

